

平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年2月14日

上場会社名 株式会社エコノス 上場取引所 札  
 コード番号 3136 URL http://www.eco-nos.com/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)長谷川 勝也  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役副社長 (氏名)新行内 宏之 (TEL)011-875-1996  
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日~平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	2,805	△1.1	36	-	0	-	△24	-
30年3月期第3四半期	2,836	△2.8	△46	-	△87	-	△84	-

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 △26百万円(-%) 30年3月期第3四半期 △88百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	△28.25	-
30年3月期第3四半期	△98.70	-

(注) 平成30年3月期第3四半期及び平成31年3月期第3四半期においては、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	2,533	261	10.3
30年3月期	2,530	281	11.1

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 261百万円 30年3月期 281百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
31年3月期	-	0.00	-		
31年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,708	△3.1	73	-	30	-	18	-	21.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期3Q	879,098株	30年3月期	859,398株
② 期末自己株式数	289株	30年3月期	139株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	878,809株	30年3月期3Q	859,259株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当第3四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、台風や地震などの自然災害の影響を受けたものの、企業業績や雇用情勢の改善により、緩やかな景気回復基調で推移しましたが、米国に端を発した貿易摩擦問題の長期化や株式市場・為替市場の不安定さ、地政学的リスクなどにより、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループにおきましては、北海道胆振東部地震の影響による店舗の休業や什器の修繕などの損失が発生したものの、前連結会計年度に実施した経営資源の見直しや事業の選別・集中の効果により固定費が大きく削減され、利益額が増加いたしました。リユース事業におきましては、前連結会計年度に行いました新品商材のインターネット販売事業の撤退と地震による店舗の休業により、売上高は前年同四半期に比べ減少しましたが、地震の影響を除いた既存店舗の売上高は概ね堅調に推移いたしました。また、低炭素事業におきましては、前連結会計年度に受注したコンサルティング案件の完了に伴い売上計上したことや、海外取引先からの受注が継続するなど、排出権取引が順調に推移したことにより、売上高は前年同四半期を大きく上回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は売上高2,805,281千円（前年同四半期比1.1%減）、営業利益36,280千円（前年同四半期は営業損失46,331千円）、経常利益607千円（前年同四半期は経常損失87,113千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失24,549千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失84,807千円）となりました。

セグメントごとの業績を示すと、次のとおりであります。

（リユース事業）

リユース事業におきましては、前連結会計年度に行いました新品商材のインターネット販売事業の撤退と地震による店舗の休業により、売上高は前年同四半期に比べ減少しましたが、地震の影響を除いた既存店舗の売上高は概ね堅調に推移いたしました。また、前連結会計年度に実施した経営資源の見直しや事業の選別・集中の効果により固定費が大きく削減され、利益額が増加いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は売上高2,666,796千円（前年同四半期比3.3%減）、セグメント利益は260,297千円（前年同四半期比10.5%増）となりました。

当第3四半期連結会計期間末現在におけるリユース事業の各業態別の店舗数は以下のとおりであります。

（単位：店）

	ブックオフ 事業部	ハードオフ事業部				ハードオフ 事業部計	合計
		ハードオフ	オフハウス	ホビーオフ	ガレージ オフ		
店舗数	17	13	16	15	1	45	62

（注）ブックオフ事業部の店舗数にはインターネット販売の1店舗を含みます。

## (低炭素事業)

低炭素事業におきましては、前連結会計年度に受注したコンサルティング案件の完了に伴い売上計上したことや、海外取引先からの受注が継続するなど、排出権取引が順調に推移したことにより、売上高は前年同四半期を大きく上回りました。また、前連結会計年度に実施した経営資源の見直しや事業の選別・集中の効果により固定費が大きく削減されたことから、セグメント損失は改善いたしました。

PPS(特定規模電気事業者)等を中心として、カーボン・オフセットの需要は引き続き旺盛であるため、当社グループとしましては、排出権の仕入を円滑に行うことにより、利益の確保に努めてまいります。

なお、低炭素事業につきましては、年度末に売上が集中しやすい特徴があります。そのため、売上計上までに経費が先行して計上されるので、第3四半期連結累計期間まではセグメント損失が続く傾向があります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は売上高109,494千円(前年同四半期比104.5%増)、セグメント損失は40,145千円(前年同四半期はセグメント損失74,601千円)となりました。

## (その他)

本セグメントは報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業とiPhoneの修理等のサービスを行うリペア事業を含んでおります。

リペア事業に関しましては、平成30年3月に1店舗のiCracked Japan株式会社への移管及び1店舗の退店を行うことにより、札幌ロフト店の1店舗に事業を集約いたしました。これにより固定費が大きく削減されたことに加えて、修理案件数が増加し、売上が好調に推移したことから、本セグメントは利益を確保いたしました。

以上の結果、本セグメントの当第3四半期連結累計期間の業績は売上高28,990千円(前年同四半期比14.1%増)、セグメント利益は1,523千円(前年同四半期はセグメント損失16,965千円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、1,332,833千円となり、前連結会計年度末と比べて40,509千円の増加となりました。これは、主に現金及び預金の増加80,703千円、売掛金の減少28,218千円、その他の減少9,916千円によるものです。

また、当第3四半期連結会計期間末における固定資産は1,200,976千円となり、前連結会計年度末と比べて36,891千円の減少となりました。これは、主に建物及び構築物の増加44,078千円、敷金の減少28,436千円、リース資産の減少25,873千円、繰延税金資産の減少13,017千円、工具、器具及び備品の減少12,922千円によるものです。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、942,329千円となり、前連結会計年度末と比べて34,636千円の増加となりました。これは、主に1年内返済予定の長期借入金の増加26,496千円、賞与引当金の増加12,882千円、リース債務の増加2,014千円、未払金の減少9,143千円によるものです。

また、当第3四半期連結会計期間末における固定負債は1,330,235千円となり、前連結会計年度末と比べて11,024千円の減少となりました。これは、主に資産除去債務の増加21,229千円、長期借入金の増加3,391千円、リース債務の減少21,964千円、社債の減少8,300千円、長期未払金の減少4,347千円によるものです。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、261,245千円となり、前連結会計年度末と比べて19,994千円の減少となりました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純損失の計上24,549千円によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の業績予想につきましては、平成30年5月15日付の「平成30年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	429,316	510,019
売掛金	98,337	70,119
たな卸資産	692,705	695,931
前払費用	53,614	48,329
その他	18,350	8,434
流動資産合計	1,292,324	1,332,833
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	95,453	139,532
工具、器具及び備品(純額)	104,020	91,097
土地	115,483	115,483
リース資産(純額)	507,617	481,744
その他(純額)	2,683	2,711
有形固定資産合計	825,258	830,569
無形固定資産		
その他	2,549	1,817
無形固定資産合計	2,549	1,817
投資その他の資産		
投資有価証券	30,743	28,802
敷金	305,447	277,011
繰延税金資産	15,691	2,673
その他	58,177	60,102
投資その他の資産合計	410,059	368,589
固定資産合計	1,237,868	1,200,976
資産合計	2,530,192	2,533,810

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	6,349	7,693
短期借入金	450,000	450,000
1年内償還予定の社債	16,600	16,600
1年内返済予定の長期借入金	208,606	235,102
リース債務	33,830	35,844
未払金	83,727	74,583
未払費用	62,679	64,550
未払法人税等	13,126	15,118
未払消費税等	19,382	20,021
賞与引当金	-	12,882
ポイント引当金	5,354	3,571
その他	8,036	6,359
流動負債合計	907,693	942,329
固定負債		
社債	75,300	67,000
長期借入金	477,972	481,363
リース債務	617,670	595,706
長期末払金	57,001	52,653
長期前受収益	1,896	486
退職給付に係る負債	43,835	45,513
資産除去債務	65,981	87,211
繰延税金負債	701	-
その他	900	300
固定負債合計	1,341,259	1,330,235
負債合計	2,248,953	2,272,564
純資産の部		
株主資本		
資本金	210,813	213,895
資本剰余金	159,140	162,222
利益剰余金	△91,783	△116,333
自己株式	△69	△164
株主資本合計	278,100	259,620
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,794	2,117
為替換算調整勘定	△655	△492
その他の包括利益累計額合計	3,139	1,624
非支配株主持分	-	-
純資産合計	281,239	261,245
負債純資産合計	2,530,192	2,533,810

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	2,836,524	2,805,281
売上原価	942,965	914,692
売上総利益	1,893,558	1,890,589
販売費及び一般管理費	1,939,890	1,854,308
営業利益又は営業損失(△)	△46,331	36,280
営業外収益		
受取配当金	1,020	953
受取手数料	6,932	6,687
協賛金収入	1,305	1,305
その他	8,248	7,916
営業外収益合計	17,507	16,862
営業外費用		
支払利息	53,995	50,734
その他	4,293	1,800
営業外費用合計	58,289	52,535
経常利益又は経常損失(△)	△87,113	607
特別損失		
災害による損失	-	3,217
特別損失合計	-	3,217
税金等調整前四半期純損失(△)	△87,113	△2,609
法人税、住民税及び事業税	3,034	9,179
法人税等調整額	△1,120	12,760
法人税等合計	1,913	21,939
四半期純損失(△)	△89,027	△24,549
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,219	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△84,807	△24,549

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純損失(△)	△89,027	△24,549
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	456	△1,677
為替換算調整勘定	55	162
その他の包括利益合計	511	△1,514
四半期包括利益	△88,515	△26,064
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△84,295	△26,064
非支配株主に係る四半期包括利益	△4,219	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

## (セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	リユース 事業	低炭素 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,757,584	53,543	2,811,127	25,396	2,836,524	-	2,836,524
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	2,757,584	53,543	2,811,127	25,396	2,836,524	-	2,836,524
セグメント利益又は 損失(△)	235,554	△74,601	160,953	△16,965	143,987	△190,319	△46,331

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及びリペア事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△190,319千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに属しない管理部門に係る一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	リユース 事業	低炭素 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,666,796	109,494	2,776,291	28,990	2,805,281	-	2,805,281
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	2,666,796	109,494	2,776,291	28,990	2,805,281	-	2,805,281
セグメント利益又は 損失(△)	260,297	△40,145	220,152	1,523	221,676	△185,395	36,280

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及びリペア事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△185,395千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに属しない管理部門に係る一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。